



## あたたかい光で心と心をつなぐ

10月6日(土)

秋の夕暮れをほんのりと照らすイベントーあかりの夕べ。今年はぎふ清流国体の協賛事業として「あかりでつなぐ友情の輪」をテーマに、土岐川河川敷で開催されました。地元の幼稚園児や小・中学生、若手作家らが手作りした陶製の灯笼やランプシェードが幻想的な光を生み出し、訪れた人たちをあたたかく迎えました。



## 祭りの楽しみ ご馳走の味

10月13日(土)

駄知公民館で秋祭りのご馳走作り教室が開かれ、参加した16人が、箱ずしや茶わん蒸しなど秋祭りにぴったりの料理を作りました。箱ずしは木箱の代わりに菓子箱を使う工夫をし、ラップを敷いた箱にご飯を詰め、サケのそぼろやレンコン、シイタケを乗せた後、辞書で1時間ほど重しをすると、彩り鮮やかに完成しました。



## 軽スポーツで生きがいづくり

10月19日(金)

東濃5市の老人クラブが、会員の健康づくりや親睦を深めることを目的に、土岐市総合公園で軽スポーツ大会を行いました。種目は、ゲートボールやグラウンドゴルフのほか、金属球を目標に投げて近づいた距離を競うペタングの3種目で、参加した60~90代の会員約360人は、真剣勝負の中にも笑顔を交えながら体を動かししました。



## 健康は毎日の積み重ね

10月21日(日)

セラトピア土岐で第38回健康を守る市民の集いが開かれました。

医師による健康相談や歯科健診のほか、骨密度や脳年齢などの測定コーナー、1日に摂取したい野菜の量など食について学ぶコーナーもあり、気軽に自分の健康を知ることができる催しに、子どもからお年寄りまで大勢の方でにぎわいました。



## 「分からないものは絶対に食べないこと」

10月13日(土)

曾木公民館できのご教室が開かれ、県内外から集まったキノコ愛好家60人が参加しました。講師を先頭に曾木小学校の裏山に入ってキノコを採集し、食べられるもの、注意が必要なもの、食べてはいけないものに分類しました。「猛毒のものから覚える」といったキノコ採りの心得やおいしい食べ方などを教わり、参加者は熱心に耳を傾けていました。



Voice

普段から山に入ってキノコを採り、子どもも採れたてのキノコの入ったおみそ汁を食べてから学校に行っています。今回初めてきのご教室に参加し、知らないキノコのことが分かりました。



## にぎわう 秋の陶器祭り

10月6日(土)・7日(日)

第16回下石どえらあええ陶器まつり(写真右)と第17回駄知どんぶりまつりが行われました。窯元自慢の逸品を探す窯元巡りや、それぞれの町の趣向を凝らしたイベントに多くのお客さんが参加して、陶器に親しみました。

